

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月22日

事業所名 仙台市立町たんぽぽホーム

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・園庭が混み合うような時は散歩や時間をずらすことで工夫している ・居室については定員内で使用・4クラスに編成し2クラス交代で登園している	
	② 職員の配置数は適切である	○		・個別に添う必要のある児がいる場合には、あらかじめ担当や動きを確認し対応に努めた ・登園人数や活動内容により調整した	・単独通園児に付き、勉強会等で分離児がいる場合、不足を感じるがより安全に見ることができるよう場面毎の配置を更に考えていったり、現況を把握し法人全体で検討し人員を確保出来るようにしていきたい。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・パーテーションやマットなどを使用し、空間分けを分かり易く工夫している・子ども達の様子等に合わせて変更してきた ・視覚的に分かり易いよう、番号をつけたり配置を工夫している ・クラス毎、発達特性に応じた構造化、視覚的に分かり易い工夫を実施 ・集団、個別それぞれに構造化の工夫を行い設定してきた。発達の状態に応じ、その都度クラス間で話し合い、環境を変えてきた ・これから行うことを絵や写真で提示したり、1日の予定をホワイトボードで提示し見通しをもって生活できるようにしてきた	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・日々の清掃や食事前後のアルコール拭き、玩具消毒などこまめに行った ・活動内容やお子さんの状況に合わせてパーテーションの使用も行い工夫している ・玩具の安全点検をこまめに行っている	
適切な支援の提供	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・指摘事項は全体で把握し改善を心掛けた ・意見頂いた内容については話し合いを行うと共に改善に努める	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ホームページにて開示している	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・計画的に研修が行われていた ・たんぽぽ研修、園内研修、日々のレビューもやっている ・ラダー毎に園内、法人、関係施設の研修を行っている	・全員が参加しやすいように研修の時間を配慮したり、研修を療育に生かせるように開催時期を考慮している ・それぞれが成長できるようにお互いがファシリテーターを努めるようにしている
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・聞き取りを行ったうえで作成し訂正の要望があれば対応した ・適切に行う努力をしている ・アセスメントシートをもとにアセスメントし、ニーズ整理表を作成し、支援計画を作成している ・アセスメントシートを用いて発達を細かく確認している ・職員や保護者とやりとりを行い作成している ・面談を行い支援計画の確認、反省を保護者と行っている	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・支援会議を行い、話し合っ支援内容を決めている。 ・子ども1人1人に合わせて（保護者とも）項目、目的をあげ、支援内容を具体的に作成している。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・職員間だけでなく、保護者と常に話し合いながら支援するよう努めている。 ・必ず支援計画に基づいた支援ができるようにしている。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・様々なあそびが経験されるよう、またクラスに合わせて内容を変化させている。 ・同じものを行いつつ、変化も合わせて取り入れている。 ・子どもたちの様子に合わせて流れや活動を工夫するよう、心がけてきた。必要に応じて活動を繰り返し取り入れたりしている。 ・日々の反省で次回への改善点を確認しながらすすめている。 ・全体の活動のバランスを考慮し月間のプログラムを作成している ・ルーティン化するところは固定して見通しをもたせている	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個別と集団の違いや良さを考え、子どもの発達に合わせた活動内容や課題を提示している ・個別活動内容によって集団で行う活動に加えて、より児に添った療育を行っている ・個別あそびは1人につき2~3ヶ月に1回、小集団は月1回実施している	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・前日もしくは当日に確認している ・支援内容から予測される危険なことを想定し個別に対応出来るように確認を行っていた ・個別配慮が必要な児や保護者についての情報をシェアし担当をつけて対応することもある	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・反省を行い次の保育、活動への改善点などを共有している ・環境や対応で改善出来るところは改善し、児や保護者にとって過ごしやすいよう工夫している	・時間配分等の工夫は必要であり、時間内に出来るよう内容を吟味しながら行っていく事を検討していく
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録をとったことで振り返り時、対応の効果をクラス内で確認出来た・日々の記録はケース、日誌にわけて記載 ・よく話し合いをしている ・記録をとり全職員に周知しアドバイスをもらっている ・日誌に反省点や継続点などを記入し職員間でいつでも見れるようファイリングしている	

関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・半年ごとに見直しをしている	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・クラスリーダー、主任が参加している	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・地域相談員が各保育施設を訪問しタイムリーに対応している ・連携出来るように働きかけを行っている ・区役所、地域の子育て機関等と密に連携を図っている	・関係機関とのより良い連携の継続
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-		該当者なし	・必要に応じて連携を図っていききたい
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-		該当者なし	・必要に応じて連携を図っていききたい
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・移行支援シートを保護者と作成し児にとって必要な支援を伝えている ・移行支援シートを使用した情報共有 ・(施設理解のための)施設見学の受け入れ ・卒園児訪問の実施	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	-		該当者なし	・必要に応じて行っていききたい
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・他の事業所へ通っている子がいる場合、支援内容等について情報提供を行った ・アールが定期的に訪問して下さり助言、指導を頂いている ・研修を受けさせて頂く機会が多く他方面からの学びがある ・定期的に会議があり情報交換を行っている	・関係機関との連携の強化
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	△		コロナ禍のため行わなかった	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・日々の活動での変化を都度伝えたり、家での様子を伝えてもらい共通理解に努めた	・家庭によっては共通理解の難しさあり
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者向けに各種勉強会を実施
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・入園時に説明している	
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・個別支援計画を提示しながら説明し同意は得ている ・日々の療育や面談時に支援内容や目標について母の意見を聞き、それらを盛り込みながら作成し同意を得ている	
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・子どもや保護者の様子をみながら声をかけて、困っていることに対応と一緒に考えている ・面談を行っている	・決められた回数で実施しているが面談の不足を感じている方もいるため検討が必要であり、臨機応変に対応しニーズを整理していく ・相談内容によっては、個人情報に配慮しながら、積極的に他の関係機関と連携をとり、支援に繋げていく
	㉞	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談がある時は速やかに対応している ・直接的に悩みを聞き取る場面や日々相談を受けたことについてクラスで共有し支援につなげられるように努めている	
	㉟	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・個人情報の管理場所に施錠、守秘義務の徹底 ・個人が特定されないように提示はひらがな表記している	
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・一人ひとりに合わせたわかりやすい伝え方を行っている。	
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・現在はコロナ禍のため行っていない ・関係機関との関係作りは行っている ・園の療育を紹介する機会を設けている	
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルは作成してあり、職員には年度はじめに、保護者には入園時に周知している ・月1回、避難訓練を実施している	
非常時等の対応	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月、避難訓練を実施している	
	㊵	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・健康観察カードに入園時記載してもらい職員間で周知している ・健康面での子どもの状況で配慮すべき点があれば共有してきた ・入園後にわかった際も対応等を保護者と確認している	
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	△			
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	㊸	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止チェックシートを使用し職員間で情報を共有、会議を開いて今後の対応についても全員で考え実践している	
	㊹	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

※この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。